

時事新報

相撲の所感

東京本場の相撲は去る十九日より例の如く兩國回向院
入於て興行、晴天十日の間その技を演ずる等なり右に
付き府下の相撲好の人々はその最負の力士の勝敗を關
心し日々場へ到りて見物するは勿論、茶話酒宴の席上
總て相撲勝負の談をあらざるはなし甲はその最負の力
士の必勝を期し乙は其敵手の技倆を以て當場第一とな
し其最負々々の力士を賞し互に相争ふて相下らず終
には之を明日實場の賭に賭ふるなど其有様を形容すれ
ば凡そその十日間は滿都の人士いやしくも相撲の心あ
るものは恰も一種の狂疾に罹りたりと評するも不可な
き如し今何時時事新報社に於て相撲の全勝者へ賞品と
して銀盃を授けんとするの事も亦是れ都下流行の狂
を免かれざるものか然るも其進行終るの後よ至ればさ
しも滿都の心を勵がしたる相撲談も全く其迹を收め最
負争ひの如き亦唯昨宵の夢として敵も味方も互に一笑
に附するのみ又力士の番附を見るも其昇降劇、時常さ
らずして數年間同一の地位を守るものとは甚だ少な
く或は病衰等の事故を以て退く者あり或は新進少壯の
力士が俄に頭角を現はすあり一進一退優勝劣敗の事實
は目前より行はれて何等の會釋も亦く又情實も亦し全面
の風景甚だ淡泊にして無造作なりと云ふ可し故に最負
の屬する所も常ならずして去年甲も然したる熱心も今
年は漸く冷却して乙に移り、従前名も知れざりし田舎
相撲も今度の本場にて忽ち人氣躍山と爲るものあり
或は最負の疑り固まりたる最上は力士の病衰も亦拘
はらず其次第も墮落するを悲しむ者もある可し雖も
優勝劣敗の觀面より行はるる社會のものとせば到底その
最負の永續す可きにあらず人氣の冷熱も怨恨の媒介
たるものと云くして其間に無限の興味あるは即是れ相撲
の妙處あり

夫れと是れとは事變れども明年は國會開議の都合にて
憲法も近日發布になる可しと云ふ右も付き世上の政治
に志ある人々は夫々準備を忙はしめ候ふなり或は自か
ら議員の當選を川憲し又は政黨の募集に従事する等と
甚だ多事なる其中又急々開議の曉に至り右の政治家が
志を得て議場に出席し雄辯滔滔の技倆を試みるは猶ほ
當場の力士が回向院の本場を於て技を角するが如きみ
とならん又世の政黨政友あるものが銘々信する所の政
治家を最負して其勝敗を關心するは猶ほ都人士が相撲
を最負する一般なるものとやらん然り而して都人士の
相撲を最負するや前も云へる如く其開場間の有様を
見れば恰も一時の狂を病むもの如く熱心の極度と違
ずれども場終れば其熱忽ち墮れて復た狂態を留めず又
その開場最負あるものも去年は甲を最負して今年に
乙と移るやと轉變常定ならざるの間も互に不快の感と
起すものとなく其外形内情共に淡泊なれども彼の政黨政
友の争鬪は果して斯く淡泊なるものと得べきや否や政
治は一國利害の關する所にして相撲は一個人の快樂に
過ぎざれば事固より日に論ず可きと云ふも雖も世
上の人々がその最負より由りて政治家の勝敗を斯る
の情に相撲最負の人が力士を觀るの情に異なる所ある
可らず對症の遺風を脱せざる我士人等が何事と就ても
相撲一方を偏して觀望を知らず其弊特々政治に甚だし
きは堪へ可らざるの事實なれば國會開議の日よ於て當

路の政治家を始めとして世上幾千萬の人々が例の政熱
を催はし政治上の功名に執着して酷く勝敗を争ふが如
きあらば其結果は如何なる可きや我輩の今より恐るる
所なり政治と相撲と其趣重なり同一視す可らずと雖
も最負の一勝一負は是れ異なる所ある可らず然るも
一方は熱心の中に自から淡泊ある餘地を存して興味
淺からざる其反對に一方の政治は於て獨り熱心の盛に
して遂に狂態を呈するに至るとありては其趣の不風流
のみならず日本社會の爲めや聊か赤面せざるを得ず故
に我輩の所望を云へば今後政治に従事奔走する人々は
其心事の淡泊にして其舉動の輕快あるものと恰も相撲の
最負に於けるが如くならんものと一事なり偶々本場相
撲の開場の際に聊か所感を記して以て天下大小の政治
家よ教を乞ふものあり

電報

- 收稅長 仙臺一月廿六日午後特發
雷宮城縣管内の北部地方巡回中なる收稅長山田一
氏は本日歸郷せり
○知事、法官上京 神戶一月廿六日午後特發
内海管縣知事は會計、庶務の兩課長を従へ來る三十
一日、神戸始審裁判所々長、同上席檢察事は來月二日上
京孰れも憲法發布式に臨場の爲めあり、又關西各府
縣知事も追々當地を経て上京の管、北垣京都府知事
も本日出發せり
○知事の上京、縣會議長 高知一月廿六日午前特發
時任本縣知事は本日出發、上京の途に就けり又當高
知縣會議長小野道一氏は其筋より上京すべし命を受
けたり
○知事の上京 京都一月廿六日午前特發
北垣府知事は本日出發上京の途に就きたり
○白根縣知事 松山一月廿六日午前特發
當愛媛縣知事白根專一氏は明日出發上京の管あり
○知事上京 佐賀一月廿六日午後特發
石井知事今日上京の途に就きたり
○大坂鐵道株、香川縣知事 大坂一月廿六日午後特發
大坂鐵道株は社長退職後今日一圓ほど高直なり
香川縣知事は寺院處分事件にて本日當控訴院へ訴へ
られたり
○自由派の勝利 金澤一月廿六日午後特發
昨日當合澤區の縣會議員選舉會を開きしが自由派勝
を占めたり
○春日船入港 靜岡一月廿六日午後特發
今日春日船當清水港へ入港せり
○合衆國の關稅案 倫敦一月廿三日發
合衆國上院は三票の多數にて關稅案を可決せり
○獨逸聯邦會議 同上
獨逸聯邦會議は東亞弗利加案を賛成したり
○スワキヤ事件 同上
スワキヤの僧兵は尙ほ抵抗の舉動を示すと云ふ
(以上三件ワヤンメル)

雜報

- 憲法發布式場 來る二月十一日憲法發布式に於ての式
場は宮中若くは青山練兵場あるべしとの事を前後に記
したるが右は宮中於て執行の都合にて當日特々觀兵
式を執行し右天覽の爲め行幸在らせ給ふやと承はる
○特別地位の噂 去る十八年以來非難を命せられ既
滿期となりたる官吏へ今度特別を以て地位を進めらる
るの噂あり

○勤續者へ勳章授與 明治元年より本年に至る迄勤續
の官吏へ今度特別を以て勳章を授與する都合よて目下
取調中の由あるが勳任官以上は別として奏判任官等
二十餘年の勤續者は至て少數なれど宮内省は判任官
も随分多數ありといふ
○廢局の噂 大藏省にては近々金庫國債の兩局を廢し
同事務は日本銀行へ引續ぐとの噂あり
○法官の着京期限 憲法發布式へ列席の爲め各控訴院
長、檢察長等へ夫々上京を命じたるを以て昨今次第
出京の途に就くよしあるが孰れも來月八日を期限とし
て一同着京すべき筈なりと
○獨逸の間に紛糾あり 獨逸のコロニンガゼット、新
開に或る確る筋より得たりとて露國セントピートル
ズボルグ駐在の英國公使ロバート、モリーヤ氏の既
往の所爲を非難するの報を掲げてより英獨の間に一紛
糾を起さんとするに至れり其由縁を尋ねるに千八百七
十年普佛戰爭の未だ勝敗を分たざる頃當時獨逸マルム
ムダット駐在の英國代理公使たりし右モリーヤ氏が
「普軍モセイユ河を渡る」との報を本國よ送り本國より
佛軍の大將パーセン將軍(去年九月廿二日西班牙に没
す)に通知せしめたるは獨逸と對して不義の履行なり
との事をコロニンガゼット、に記載し獨逸人中之を信
じて憤るもの多く外務大臣ビスマルク伯も度々人に向
つて之を物言りたる事ありと聞きモリーヤ氏はパーセ
ン將軍が氏に答へたるの書を添へてビスマルク伯より
書を送り左る事實は全く無根なれば新聞の取消を達せ
られたる旨照會したるは伯は取消を命ずべき限りあり
ならずと答へたるが故に左らばとてモリーヤ氏は伯及び
パーセン將軍と往復の書翰を有の儘に諸新聞紙上に掲
げて廣く公衆の判斷を任するに至れり即ちモリーヤ氏
がパーセン將軍と書を送りしは去年七月二十五日とし
て當時伯林にて氏を非難するもの多きが爲り自ら其非
を辨するよりは通知を受けたりと噂する本人が西班牙
に在るものと幸なれ其本人より無根に相違な死の返答を
得て之を獨逸人よ示さば冤を雪ぐの捷徑なるべしと信
じて斯くはパーセン將軍と確答を請ふるあり而して
將軍よりの返事は同年八月八日マドリッド發の日附を
以て「風説の無根たる事勿論にして實際は千八百七十
年の戰爭前及び戰爭中は足下と未だ一面の讒なき時な
り云々」との答へを得てければ其儘之をビスマルク伯
に送り續いて世に公にしたるに伯林の諸新聞紙は暗ま
パーセン將軍の答書を偽造品として容易に信せず氏の如
く獨逸を敵視するの英國公使がパーセンボルグに駐
在する時は英露の間を大に親密にし従つて獨逸の大不
利ならんことを恐れてビスマルク侯は英國政府と照會
して氏を露京より召喚せしめんとするなど風説ありけ
れば英國の新聞は之に反對の口調を以てビスマルク伯
を攻撃するもの多しと云へり以上は昨年々末より本年
早々の紛糾するが其後如何に成行きたるか倫敦一月八
日發の報に從へば伯林ポスト新聞だけは既に前報を取
消したるよし

○露佛の同盟 佛國が獨逸伊の三國同盟を反對して露
國と盟約を結ばしが爲め同國の歡心を損んとの希望あ
りとは目下世人の囑道する所よして先頃露國政府の公
使歐洲の市場に現はれし時、獨逸人中には其意を
應ずる者少なかりしにも拘はらず佛國の人民が觀て
株主となりし一事よても露人の心を動かし他日佛露國
向つて好
れども本
の二大
とも佛國
針を異
第二は露
は必ず歐
すべし此
するよと
○八重山
事非常の
至りたる
來る三月
の日は同
○非常警
及消防分
中よて未
用し居る
れば實に
る趣きな
○軍艦修
執行する
れも大抵
を以て昨
右の修繕
込なりと
○赤松中
より檣濱
○地方官
六日卸
○マルチ
しが快復
十餘名を
○長谷川
二十五日
大藏大臣
上は直に
○パナル
同時伊
ば兩氏は
て全く特
告委員が
だ左る事
○局長代
視歐洲巡
○森原宏
○市區改
て芳川市
を開きた
○鳥山讓
得兼小學
○中村道
なく其節
たるも年
取取中村

大坂博多町長川小山堂製
口中のんごよ入て更
害無さ虫歯の妙藥
大瓶廿錢
中瓶十錢
小瓶五錢
長尾守分堂

櫻鳴政談討論演說會
來月三十日正十二時日
會出席辨士左ノ如ク
沼田守一 青木 久
波多野傳三郎